

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

2022年9月20日

「good digital award」で「部門最優秀賞」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（代表取締役社長：船曳 真一郎）ならびに、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、デジタル庁が主催する「good digital award」において、それぞれ「部門最優秀賞」を受賞しました。

引き続き、より付加価値の高いサービスの提供に向けて、両社が受賞したサービスにおける技術を発展させ、グループ体となってデジタル技術の活用を進めていきます。

MS&ADインシュアランスグループは、デジタル技術の活用により地域社会の課題解決を図り、レジリエントで持続可能な社会を支える企業グループを目指していきます。

1. 「good digital award」の概要

社会全体でデジタルについて定期的に振り返り、体験し、見直す機会として、2021年に創設されました。

今年で2回目の開催となる本表彰制度は、「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」に貢献する個人や企業・団体を対象に、デジタル大臣等が表彰を行うものです。

9つの応募部門から対象となる企業・団体を選定し、デジタル大臣等が表彰を行います。



2. 受賞サービスの概要

(1) 三井住友海上

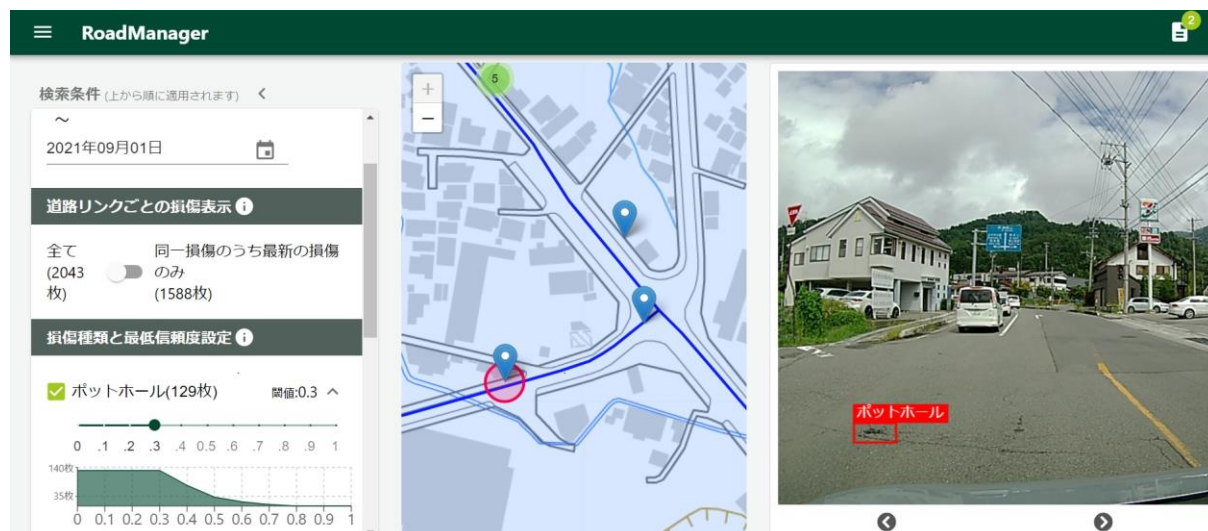
取組名称：「産民学連携 DX による AI 道路点検サービス ドラレコ・ロードマネージャー」
（防災／インフラ部門）

通信機能付きドライブレコーダーが取得する道路映像データと、東京大学発のスタートアップである株式会社アーバンエクステクノロジーの AI 画像分析技術を組み合わせ、道路損傷箇所を自動的に検出し、自治体等における道路点検・管理業務を支援するサービスです。

本サービスは2021年12月に開始後、複数の自治体にて導入されています。三井住友海上のドライブレコーダーを搭載した民間企業の車両が各地域を走行するだけで、交通事故につながる危険な損傷を発見し、道路の維持管理業務の高度化・効率化を実現します。

サービスの詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

<サービスイメージ図>



(2) あいおいニッセイ同和損保

取組名称：「テレマティクス技術を活用したお客さま・地域・社会と一体になった安全・安心で快適なまちづくり」(モビリティ部門)

あいおいニッセイ同和損保の代表的商品であるテレマティクス自動車保険の提供を通じて、データに基づく保険料の割引、安全運転アドバイス、事故時の画像データによる早期事故解決などを提供し、安全・安心なモビリティ社会の実現をサポートしています。

このテレマティクス技術から収集した走行データを活用し、危険地点の可視化、原因分析、対策立案支援、対策の効果検証までをワンストップで提供する自治体向け「交通安全 EBPM 支援サービス」を2022年4月にリリースし、2022年7月に静岡県裾野市で導入が決定しています。サービスの詳細は、[こちら](#)をご参照ください。

＜「交通安全 EBPM 支援サービス」のフロー＞



以上